

日ミャンマー農林水産業・食品協力対話第3回会合

1 概要

開催日、場所：平成29年1月12日、ネピドー

概要：「ミャンマーにおけるフードバリューチェーン構築のための工程表」の策定作業が完了したことを双方で確認。同工程表の実施に当たり、進捗状況や課題等について、引き続き対話の中で議論していくことに合意。

農畜産灌漑省に対し、農産物の輸入手続の迅速化・明確化等について要請し、ミャンマー側からは、手続の明確化に努める旨回答。

関連会合：日系企業とともに関係省庁（保健・スポーツ省、計画財務省）の幹部を訪問し、ミャンマーにおける日系企業によるビジネス展開上の懸案事項（加工食品の輸入手続の迅速化・明確化等）について、改善を要請。ミャンマー側からは、日本からの投資促進に期待しており、解決に向けて努力していく旨回答。

2 出席者

日本側： 田野井農林水産省大臣官房審議官、在ミャンマー日本国大使館、JICA、JETRO、15の農業・食品関係企業・団体の代表

【出席企業・団体】

サラヤ、損害保険ジャパン日本興亜、三井住友銀行、ジュピターエムエルシーロジスティクス、丸紅、伊藤忠商事、日本水土総合研究所、イオン、住友商事、三井物産、ヤンゴン・キャン・マニユファクチュアリング、ヤンマー、前川製作所、ミャンマーMKヘラクレス、国分

ミャンマー側： フラ・チョウ農畜産灌漑副大臣、ティン・トゥツ農畜産灌漑省次官、商業省、工業省、計画財務省、ミャンマー商工会議所連盟(UMFCCI)、ミャンマー米穀連盟(MRF)、ミャンマー水産連盟(MFF)他民間の6団体

関係ドナー： 世界銀行(WB)、アジア開発銀行(ADB)、国連食糧農業機関(FAO)

